

クレジット取引セキュリティ対策協議会の設置について

1. 目的

2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催等を踏まえ、世界最高水準のクレジット取引のセキュリティ環境を整備するため、カード会社のみならずクレジット取引に関係する事業者等からなる推進体制を構築して、セキュリティ対策の強化に向けた取組の加速を図ることを目的とする。

2. 検討課題

- ①クレジットカード番号情報保護対策(カード番号の適切な管理 等)
- ②クレジットカード偽造防止対策(決済端末のIC化の加速 等)
- ③不正使用対策(なりすまし等の不正使用防止に係る手法検討 等)

3. 協議会の構成及びメンバーについて

- 日本クレジット協会に事務局を設置する。
- セキュリティ対策に関する総合的な議論を行う本会議を設置するとともに、検討課題別にWGを設置して、課題別の実務者レベルでの具体的な検討を行うこととする。
- 経済産業省はオブザーバとして本会議及び各WGに参加する。

検討体制

本会議

クレジット取引におけるセキュリティ対策について総合的な議論を行うとともに、各WGの議論の進捗について確認する。

カード情報保護WG

カード番号情報等の適切な保護の観点から、加盟店における非保持化の推進や保有する場合におけるPCI-DSS準拠に関する検証、新たな技術等の検証を通じた具体的な情報漏洩対策を検討。

カード偽造防止対策WG

クレジットカードのIC化が加速することを踏まえ、加盟店における決済端末のIC化等について、その推進に係る課題とコスト低減も含めた幅広い対応策等について検討を行う。

不正使用対策WG

ECサイトにおけるなりすまし等の不正使用について、その発生状況や被害の実態を踏まえつつ、効果的な対応策の検討や新たな技術の検証等を行う。

◆協議会本会議メンバー

【カード事業者】イオンクレジットサービス、オリエントコーポレーション、クレディセゾン、ジャックス、ジェーシービー、セディナ、トヨタファイナンス、三井住友カード、三菱UFJニコス、UCカード、楽天カード

【PSP】ベリトランス

【加盟店】カタログハウス、ジェイティービー、J. フロントリテイリング、三越伊勢丹HD、ヤフー、ヨドバシカメラ、楽天

【情報処理センター】NTTデータ

【機器メーカー】NECプラットフォームズ

【セキュリティ事業者】トレンドマイクロ、Payment Card Forensics

【学識経験者】笠井修・中央大学教授、田中良明・早稲田大学教授

【オブザーバー】

(国際ブランド) アメリカン・エクスプレス・インターナショナル、シティカードジャパン[ダイナースクラブ]、ビザ・ワールドワイド・ジャパン、MasterCard、UnionPay International Co.,Ltd

(団体事務局) 日本チェーンストア協会、日本通信販売協会、日本百貨店協会

(官 庁) 経済産業省

①目的

カード番号情報等の適切な保護の観点から、加盟店における非保持化の推進や保有する場合におけるPCI-DSS準拠に関する検証、新たな技術等の検証を通じた具体的な情報漏洩対策を検討。

a) 想定される検討課題 (具体的な検討課題は今後WGにおいて決定)

- ・これまでの漏洩事案における発生原因と再発防止策等の事例検証
- ・番号情報の非保持化の推進について
- ・PCI-DSS準拠に関する課題抽出と推進のあり方について(国内の準拠状況、欧米の事例、導入コストの低減の方策 等)
- ・情報漏洩が発生した場合の適切な対応のあり方について
- ・新たな漏洩対策の技術等の検証(トークナイゼーション等)

b) 期待されるアウトプット(例)

- ・カード番号を保持する加盟店を対象する情報管理に関する具体的な方策
- ・加盟店のカード番号非保持化の推進に向けた工程表
- ・カード番号漏洩に関する緊急時対応マニュアル(漏洩した時の必要な対応等) 等

②委員(カード情報保護WG)

- ・カード会社
- ・PSP
- ・加盟店関係(百貨店、旅行代理店、通信販売業者、家電量販店、ECサイト運営者)
- ・情報処理センター
- ・セキュリティ専門家 等

○オブザーバ 国際ブランド、関係団体事務局

◆カード偽造防止対策WG

①目的

クレジットカードのIC化が加速することを踏まえ、加盟店における決済端末のIC化等について、その推進に係る課題とコスト低減も含めた幅広い対応策等について検討を行う。

a) 想定される検討課題（具体的な検討課題は今後WGにおいて決定）

- ・IC対応決済端末（CCT端末、POS）の普及状況や導入事例の整理、海外実態の調査
- ・POSのIC化に向けた課題抽出とその対応策の検討（コスト低減の検討、IC対応POSのガイドラインの検討、オペレーションについて（サインレスの検討やPINレスの考え方等）、PINに関する消費者啓発の進め方 等）
- ・スマホ端末に関する普及状況等
- ・将来の技術への対応について（NFC対応 等）

b) 期待されるアウトプット（例）

- ・IC対応決済端末の普及拡大に向けた具体的な方策
- ・IC対応POSガイドライン（機器やソフトウェアの標準化 等） 等

②委員（カード偽造防止対策WG）

- ・カード会社
- ・加盟店関係（百貨店、家電量販店 等）
- ・情報処理センター
- ・機器メーカー（POSベンダー） 等

○オブザーバ

国際ブランド、各団体事務局

◆不正使用対策WG

①目的

ECサイトにおけるなりすまし等の不正使用について、その発生状況や被害の実態を踏まえつつ、効果的な対応策の検討や新たな技術の検証等を行う。

a) 想定される検討課題 (具体的な検討課題は今後WGにおいて決定)

- ・不正使用による犯罪の実態の把握 (その手法や犯罪グループの実態等)
- ・不正事案に関する業界内の情報共有のあり方について
- ・不正利用対策の導入事例の検証 (3DSの検証、その他の手法等)
- ・新たな本人確認のための方策の検討／検証 (ワンタイムパス、デバイス認証、位置情報、その他)
- ・業種／業態別の対応策のあり方 (カード業界、加盟店、モール運営者 等)

b) 期待されるアウトプット(例)

- ・不正使用の防止に関するアクションプラン 等

②委員(不正使用対策WG)

- ・カード会社
- ・PSP
- ・加盟店関係 (百貨店、旅行代理店、通信販売業者、家電量販店、ECサイト運営者)
- ・情報処理センター
- ・セキュリティ専門家 等

○オブザーバ

- ・国際ブランド、関係団体事務局